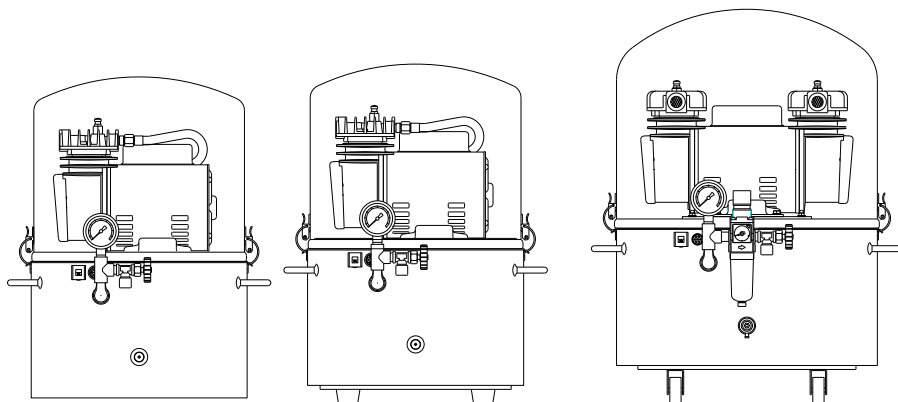




カ プ セ ル コ ン Y C シ リ ー ズ 取 扱 説 明 書



この度は、お買い上げ下さいまして誠に有難う御座います。
本製品ご使用の前に必ずお読みください。

本コンプレッサーは、低騒音タイプのオイルレスコンプレッサーですので給油の必要がなく、メンテナンスが非常に簡単です。又、駆動部をカバーする事によって超低騒音と安全性が計られています。

製造元 **株式会社 八重崎空圧**



警告

- 圧縮空気は高圧の為、目・口・鼻・耳等にむけて、やたらに噴霧しないこと
(人体に多大の影響をきたす恐れがあります)
- お手入れの際は必ず電源プラグはコンセントから抜くこと。又ぬれた手で抜き差しをしないこと。(感電やけがをすることがあります)
- 水につけたり、水をかけたりしないこと
(ショート、感電の恐れがあります)
- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理、改造はしないこと。
(異常作動してけがをすることがあります)



注意

- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜くこと(感電やショートして発火することがあります)
- 交流 100V以外では使用しないこと。(日本国内専用です)
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないこと。
(火災・感電の恐れがあります)
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないこと。(感電・ショート・発火の原因になります)
- 移動する際は絶対に落とさないこと。
(足の上に落とすとけがをします)
- 高い所に設置する際は落下しないように固定すること。
(落下するとけがをします)
- コンプレッサーのヘッドカバーやモーターフレームは高温になるので手を触れないこと(けがをすることがあります)
- 使用する際は必ずアース線を接続すること(感電の恐れがあります)
- ケースカバーの中や可動部へ指や棒を入れぬこと。特に小さなお子様には注意して下さい。(けがをすることがあります)
- タンクドレンコックを開ける際はドレン液を受ける入れ物をおくこと
(部屋を汚す恐れがあります)
- 空気導入ホースを持ってコンプレッサーを動かさぬこと
(けがをすることがあります)

運転について

● 運転前の点検・確認

1. 設置場所は湿気・ゴミ・ホコリの少ない風通しのよい処にしてください。
2. 設置場所は、0～40℃の範囲にしてください。(結露なき事)
3. 雨天での屋外使用はしないで下さい。(屋内用)
4. コンプレッサーの上には物を置かないで下さい。
5. コンプレッサーの付近には火気や揮発性可燃物(ガソリン・シンナー等)を置かないで下さい。

● 運転中の点検・確認

1. 電源コードは正しく挿入して下さい。但し電球用ソケット及び分岐タップよりの蛸足配線はしないで下さい。
2. 異常音が出ていませんか？又はエア一洩れがしていませんか？よく確かめて下さい。
3. 異常があった場合は、電源コードを抜いて原因を調べて下さい。
4. 電圧降下、異常過熱により過負荷運転になりますとモーター焼損保護装置が作動してモーターが止まりますので電源を抜いて下さい。モーターフレームの温度が40℃位に低下したら(約30分位)、リセットボタン②(赤色)を押して(カチン言うまで)電源コードを挿入して起動して下さい。但しYC-4・YC-4F・YC-4R・YC-4RS は自動復帰型になっておりますので、そのまま電源スイッチを挿入して下さい。

● 運転後の点検・確認

1. 作業終了後はタンク内の水分をドレンコックより放出して、電源コードを抜いて下さい。

コンプレッサーの保全

1. 空気取入口②部分にホコリやゴミがつまりますと空気の吸込みが悪くなり圧力のあがりが遅くなりますので、月に1度位ホコリを落として下さい。あまり汚れた場合は新品と交換して下さい。

2. 圧力があがらなかったり、時間がかかる場合には、テフロンバルブ⑦・ピストンリング⑬等を新品と交換が必要です。
3. タンク内の空気圧がストップバルブ⑳及びドレンコック㉑を閉めてもなおタンク内の空気が洩れる場合は逆止弁バルブ㉒の交換が必要です。
4. モーター焼損保護装置が連続して作動する場合(リセットボタンをなんども続けて押す様な状態)は、コンプレッサー運転部分になんらかの故障がありますので、至急に分解点検の必要があります。

故障の原因とその処置

	故障の種類	原因	処置
起動する	最高圧力まであがらない 又は時間がかかる	テフロンバルブの破損、又は作動不良	販売店に相談
		シール不良	
		ネジ部又は配管部のゆるみ	締めなおす
		ピストンリングの摩耗、作動不良	販売店に相談
	最高使用圧力以上にあがる	圧カスイッチ及び安全弁の作動圧力の不良	
	異常音がする	各部分のネジのゆるみ	締めなおす
		ピストン上部がバルブ板にあたる	販売店に相談
		モーター及びピロットリングのベアリング部分のゆるみ	
異常に電動機が過熱する	電圧の低下	電気工事に相談	
	コンプレッサーの異常	販売店に相談	
起動しない	音がしない	モーター焼損装置が作動	リセットボタンを押す
		電源コードの断線又は接続不良	配線部点検
		電動機の故障	販売店に相談
	電動機がうる	電圧低下	電気工事に相談
		コンプレッサーの異常	販売店に相談
		電動機の異常	

ON・OFF スイッチ付サーキットプロテクター

- 過電流保護機能+電源スイッチ機能付き！

安全対策として、サーキットプロテクターを搭載しています。

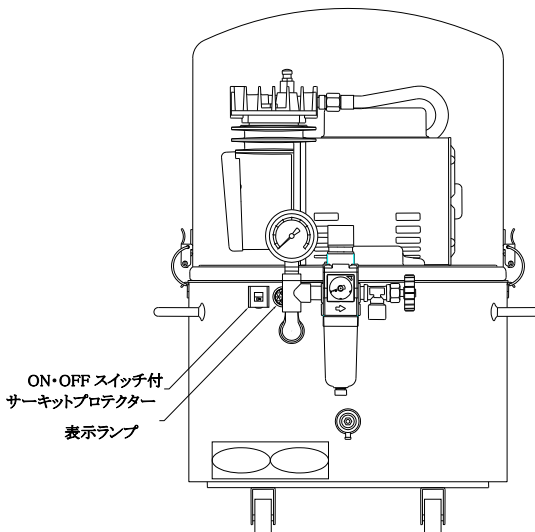
何らかの原因によりコンプレッサーが拘束された場合、サーキットプロテクター④⑩が自動で OFF になります。(表示ランプも消灯④⑪)

※原因を取り除いたのちスイッチを ON にして下さい。

- モーターが過熱した場合には、モーター内臓のサーマル②③もしくはサーキットプロテクター④⑩が「OFF」停止します。モーター内臓のサーマル②③が作動した場合、電源を切り30分ほど休ませて(冷却)のち、リセットボタンを押してください。(YC-3・YC-3F・YC-3R・YC-3RS)。

YC-4・YC-4F・YC-4R・YC-4RSは自動復帰型ですので、電源を切り30分のち電源を入れて下さい。

- 開閉寿命:機械的寿命50,000回／電氣的寿命30,000回
- 衝撃耐性:100G(無通電状態)



フィルタレギュレータ

カプセルコン YC-3R・YC-3RS・YC-4R・YC-4RSに標準装備されているフィルタレギュレータAW20-02E-Cの調整方法です。

● 圧力の調整方法

1. 圧力の調整は、ハンドルのロックを解除して行い、調整後はロックして下さい。手順を誤りますとハンドル破損及び出口圧力が変動する原因になります。
2. 調圧ハンドルを引っ張るとロック解除されます。(調圧ハンドル下側の「オレンジ色のライン」で目視確認ができます。)
3. 調圧ハンドルを押すとロックされます。ロックされにくい場合は、左右に少し回して押してください。(「オレンジ色のライン」が見えなくなります。)
4. 圧力設定は、上昇方向で行ってください。下降方向で行うと当初の設定圧力より低下することがあります。ハンドル右回転で設定圧力上昇、左回転で設定圧力下降となります。(タンク内圧力以上には圧力は上がりません)
また圧力設定後はハンドルをロックしてください。
5. 圧力設定後に入口圧力を除去し、再供給すると出口圧力が上昇する現象が発生することがあります。この場合、出口側でエアーが一旦、消費されると元の設定圧力近くになります。
6. 長時間使用していると出口圧力が変動することがあります。定期的に設定圧を確認してください。

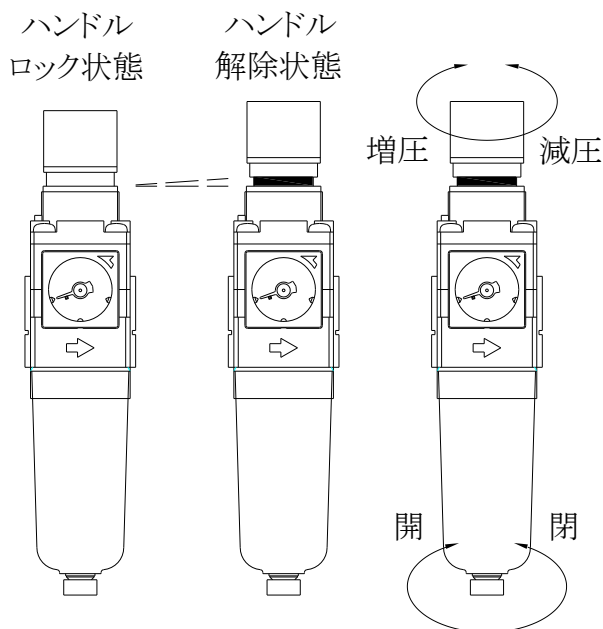
● ドレンの排出

1. ドレンの排出は、ハンドルを左回転(0←方向)させて行ってください。
2. ドレンコックの開閉は手動で行ってください。工具などを使用しますと、破損の原因になります。

3. ドレンの水位がバッフルに達する前に、ケース内のドレンを排出して下さい。出口側にドレンが流入すると、機器の作動不良の原因となります。

● 保守点検

1. 樹脂ケースのクラック、傷、その他の劣化を検出するために定期点検を実施して下さい。クラック、傷、その他の劣化が確認された場合は、破損の原因になりますので新しいケースに交換して下さい。
2. 樹脂ケースの汚れを定期的に確認してください。汚れが確認された場合には、交換もしくは洗浄して下さい。洗浄する場合には家庭用中性洗剤のみを使用して下さい。これ以外の洗剤などを使用しますと、ケースの破損の原因になりますので絶対に避けて下さい。
3. エレメントの交換時期は、使用后2年間または、使用初期の出口圧力に対する圧力降下が0.1MPaになるまでに行ってください。エレメントの破損原因となります。



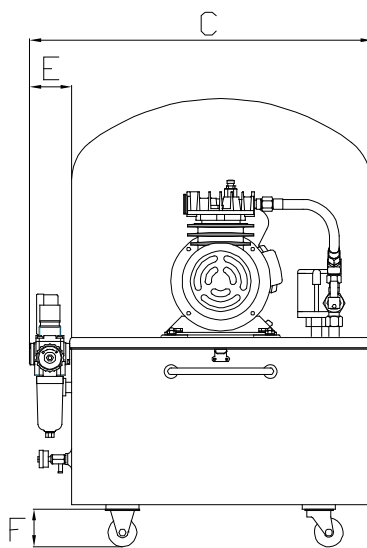
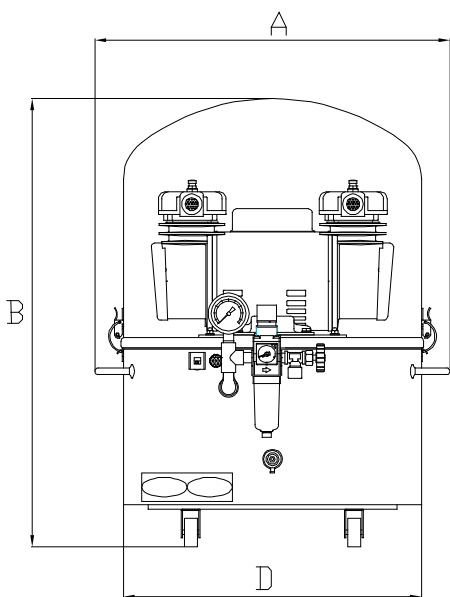
仕様

型式		YC-3	YC-3F	YC-3R YC-3RS	YC-4	YC-4F	YC-4R YC-4RS
電動機	定格電圧(V)	100					
	定格出力(W)	200					
	定格周波数(Hz)	50/60					
シリンダー	径×行程(mm)	φ46×10					φ46×12
	数	1			2		
空気吐出货量 (L/min)	50Hz	9.5		11		19	26
	60Hz	11.2		13		22	31
圧カスイッチ	作動圧力(MPa)	0.5		0.4		0.5	0.4
	復帰圧力(MPa)	0.65		0.55		0.65	0.55
空気タンク容量(L)		9		8		13	12
空気取出口口径		Rc1/4					
騒音レベル Aスケール 1.5m(dB)		43		46		45	48
重量(kg)		22.5		25		30.5	34
冷却ファン		無		有		無	有

※空気吐出货量は、最高圧力時の空気量を吸込み状態(大気圧)に換算した値です。

寸法図

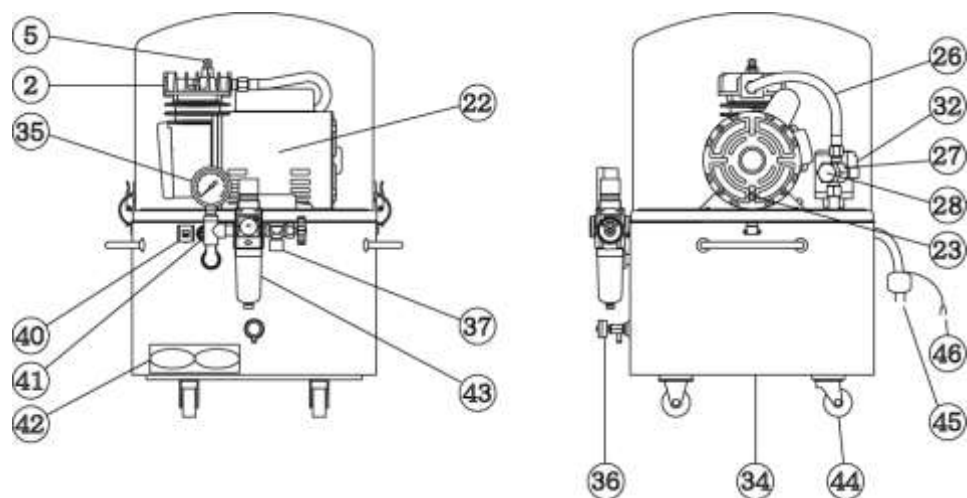
型式	YC-3	YC-3F	YC-3R&S	YC-4	YC-4F	YC-4R&S
A	400	400	400	470	470	470
B	490	515	545	550	575	595
C	380	380	390	440	440	450
D	330	330	330	400	400	400
E	50	55	55	50	55	55
F	0	22 足ゴム	50 キャスター	0	22 足ゴム	50 キャスター



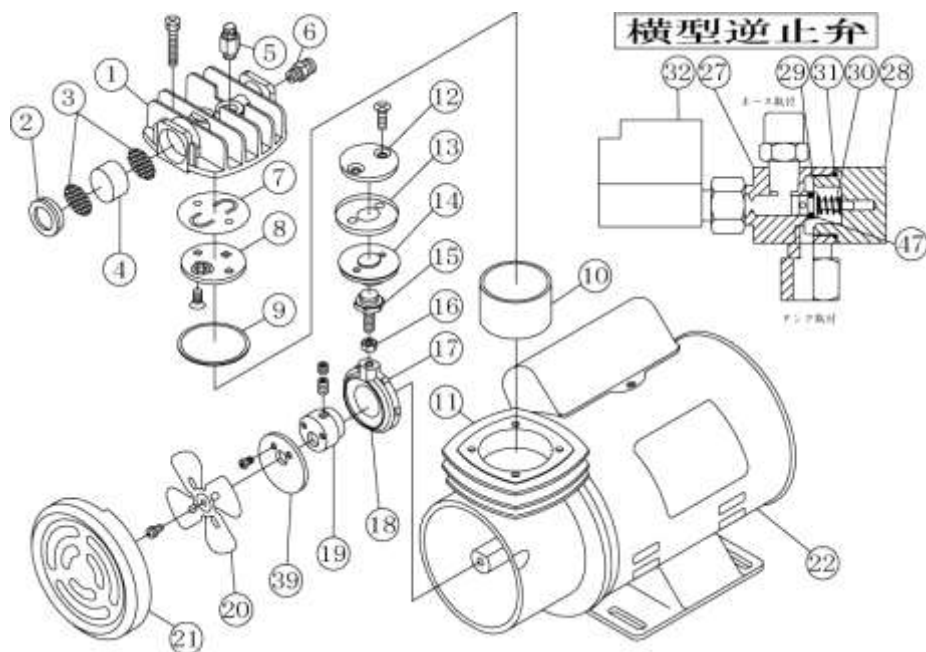
部品名称一覧

①ヘッドカバー	②空気取入口	③吸込押え板
④吸込フィルター	⑤安全弁	⑥ニップル
⑦テフロンバルブ	⑧バルブ板	⑨シリンダーパッキン
⑩シリンダーライナー	⑪ケース	⑫ピストンリング押え
⑬ピストンリング	⑭ピストン	⑮ロット
⑯ロットナット	⑰ロットリング	⑱ロットベアリング
⑲エキセン	⑳冷却ファン	㉑ケースカバー
㉒モーター	㉓モーター用リセットボタン	㉔レール
㉕防振ゴム	㉖空気導入ゴムホース	㉗逆止弁本体
㉘逆止弁ガイド	㉙リング用逆止弁バルブ	㉚リング用逆止弁スプリング
㉛逆止弁パッキン	㉜残圧排気弁	㉝圧力スイッチ
㉞エアータンク	㉟圧力計	㊱ドレンコック
㊲空気取出口	㊳足ゴム	㊴エキセンバランス
㊵電源スイッチ	㊶電源ランプ	㊷ファンモーター
㊸フィルタレギュレータ	㊹キャスター	㊺電源コード
㊻アース	㊼Oリング	

全体図



圧縮機分解図



保証

納入日から、一年間を保証期間と致します。

ただし、次の場合は保証から除外されます。

- 経時変化あるいは使用消耗により発生する不具合（塗装・メッキ等の自然退色、消耗部品の劣化など）
- 本製品の品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象
- 地震・台風・水害・落雷などの天災または事故、火災など
- お客様による改造など
- 純正部品以外の使用
- 保守点検上の不備または間違い
- 弊社以外の整備
- この製品のご使用中に発生した故障に起因する種々の出費、その他二次的損害の補償

※本装置の補償は、日本国内で使用する場合に限ります。

修理

- 本製品の修理は販売店または製造元へご依頼ください。
- 修理品の送付の際は異常内容を詳しく記載してください。

株式会社 八重崎空圧

〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目8番8号

TEL:03-3610-1652(代) FAX:03-3610-1653

●URL : http://www.yaezakiku_atu.co.jp/ ●E-mail : hohmi@yaezakiku_atu.co.jp